

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	武雄市立川登中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に向けて、校内研究に全職員で取り組むことができた。今年度も、全職員で新学習指導要領の全面実施に向けて更に深めていく必要があると考える。</li> <li>家庭と連携した学習環境づくりにおいて、家庭学習を習慣化させることについては、生徒の学習意欲を高めさせる手立てや、課題の与え方など家庭との連携が不十分である。</li> </ul>
------------------	--

2 学校教育目標	自立の精神に満ちた豊かな人間力の育成
----------	--------------------

3 本年度の重点目標	(1) 確かな学びの充実 (2) 豊かな人間性と社会性の育成 (3) 主体的な活動の推進 (4) 地域との共生と創造性の育成
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめの早期発見、早期対応体制の充実</li> <li>◎生徒が夢や目標を持ち、夢や目標の実現に向かう教育活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学級「道徳」の授業を保護者等へ公開する。</li> <li>◎特別の教科「道徳」の指導法に係る研修会を年1回以上実施する。</li> <li>◎いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止のための取組、事業対処等)について組織的対応ができていると回答した教員の割合を80%以上にする。</li> <li>◎将来の目標や夢を持つ生徒80%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の授業年間35時間しっかりと教師が取り組む。</li> <li>講師招聘による「考え・議論する道徳」に関わる職員研修会を行う。</li> <li>早期発見・早期対応できるように、生徒の変化や様子について、共通理解する会議を月に1回設ける。</li> <li>いじめの対応についての研修会を年間1回以上行う。</li> <li>1年生においては、職場見学を実施する時に、2年生においては、職場体験を実施する時に、3年生においては、3年生を中心に全学年において立志式を実施する時に、将来の目標や夢を確立させる。</li> <li>1月に、全学年の生徒に今年の目標を決定させ、夢を実現させるためには、どのようにすればよいかを具体的に確認させ、1年間の見通しを持たせる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の授業年間35時間しっかりと教師が取り組む。</li> <li>講師招聘による「考え・議論する道徳」の考え方や実践例を学び、授業に生かすことができるようにした。「考え・議論する道徳」について、再確認し、10月に、保護者に公開する予定である。</li> <li>学年主任を中心に組織的に対応することができていると思う。随時生徒の情報交換を行い、対策について検討し、実践することができた。今後も継続していく。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>1・2年でふれあい道徳の授業公開では、授業について各学年十分に検討して実施することができた。</li> <li>「道徳の授業で、自分の思いや考え方を深めたり、自分とは違ういろいろな思いや考え方に触れたりすることができたか」の項目で、肯定的な回答した生徒は、88.2%であった。</li> <li>生徒指導主事、学年主任を中心に組織的に対応することができた。生徒の状況については、定期的な情報交換を行い対策について検討することができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい道徳では、全学年統一した内容を検討してほしい。</li> <li>道徳教育の指導は、考え方の押し付けや統一は無いように留意して、生徒の豊かな心の育成に取り組んでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳教育推進教員</li> </ul>
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎部活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎朝食を毎日食べている」生徒の割合を95%以上にする。</li> <li>◎「部活動が充実している」と答える生徒の割合95%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝食の大切さについての学習や掲示板などによる啓発を学期に1回以上行う。</li> <li>月ごとに食育だよりなどで家庭への協力を呼び掛ける。</li> <li>顧問・外部指導者・保護者との連携を密にし、部活動を充実させる。</li> <li>臨場による指導を増やし練習の質の向上を目指し、主体的に練習に取り組むよう指導を行う。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育だよりや献立などで、食育の大切さを定期的に呼びかけ、意識を高めることができた。生徒97.6%、保護者82.7%、職員100%。</li> <li>生徒は93.9%、保護者は97.3%、職員は81.9%であった。今後も継続した指導を行っている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育だよりや献立などで、食育の大切さを定期的に呼びかけ、意識を高めることができた。生徒96.8%、保護者95.8%、職員100%。</li> <li>アンケートの「部活動は充実していると思いますか」の項目について、肯定的な回答した生徒は91.4%、保護者は88.3%、職員は100%であった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝食をきちんと取ることはとても大切なことなので、家庭と連携した対応を進めてほしい。</li> <li>部活動について、平日1日休み、土日どちらかを休みにするようにし、生徒や職員の休養を確実にとることができるようにしてほしい。</li> <li>駅伝大会の活躍に感謝している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育・給食担当</li> <li>体育主任</li> </ul>
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎教職員の連携促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。</li> <li>◎明るい職員室づくりを目指し、使命感と情熱にあふれ、教師力の向上に努める職員集団を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示退勤日、学校閉庁日、部活動休養日の設定する。</li> <li>これまで作成された電子媒体の有効活用を行う。</li> <li>時間外の時間について、月の途中で振り返りを行い、具体的な手立てを考える時間を設定する。</li> <li>朝礼や業務上のコミュニケーションを大事にし、それぞれの業務の進捗等の情報を共有し、チームで協力して業務を遂行できるようにする。</li> <li>時間外の時間を削減するため、会議や事務の効率化を図る。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員は81.8%であった。定時退勤日、部活動休養日を設定し、時間外の削減に努めることができた。今後も時間外の時間を削減できるよう教師の意識改革を進める。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員は100%であった。これまで作成された内容を改編・更新し、業務を進めることができた。また、全職員が校務シェアやSEI-NETなどを有効活用し、業務を遂行することができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り組んでいるが達成が難しいと聞いている。学校・保護者・地域が一丸となって推進していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職</li> </ul>

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○地域と学校の協働による学校づくり	○地域と学校の相互の関わりを深める教育活動の推進(コミュニティ・スクール)	○地域人材を活用した授業や行事を年5回以上実施する。 ◎情報公開を推進し、学校HPの更新回数を100回以上行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会を開催し、地域人材を生かした教育実践ができるように、連絡調整を密に行う。</li> <li>学校HPや配信メールにより常に新しい情報を豊富に提供すると共に、有効活用について研修を行う。</li> <li>学校がよりや学級がよりを定期的に発行する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒は89.9%、保護者は92.0%、職員は91.0%。</li> <li>定期的に学校だよりや学級だよりを発行し、新しい情報を提供することができている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校、学年、食育、給食、保健、部活動など各種よりを発行し、学校からの情報発信に積極的に取り組むことができた。</li> <li>地域人材を活用した授業や行事等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために実施できなかった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA新聞「躍進」、学校便り、ケーブルテレビの活用によって、学校の様子が伝わり、地域の明るいニュースとなった。地域ボランティア活動を行う際は、区長、公民館等にこれまで同様に連絡をしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教務主任</li> <li>教頭</li> </ul>

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育</li> <li>評価項目の12項目中9項目について、十分達成することができた。「おおむね達成」の状況である3項目については、以下のようにして改善を図っていく。</li> <li>新学習指導要領の全面実施に向けて、「めあて」「協働学習」「まとめ」をキーワードに研修を進める。</li> <li>生徒が学習に見通しをもって取り組むことができるように授業の流れを示したり、学習内容の理解を深めさせるための視覚的な教材・教具を準備をしたりするなどの特別支援教育を充実させる。</li> <li>基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力、判断力、表現力等の育成のために、家庭学習を充実させ、学校と家庭とで連携した取り組みを行う。</li> <li>生徒が夢や目標をもって何事にも取り組むことができるように、総合的な学習の時間や学校行事をこれまで以上に充実させる。</li> </ul>
----------------	--